

名古屋大学入学料免除・徴収猶予申請書 記入上の注意【日本人等学部生用】

入学料免除・徴収猶予申請書は選考上の大切な資料です。「2022年度 名古屋大学入学料免除(徴収猶予)・授業料免除申請要領」を十分に熟読し、4月入学者にあっては4月1日現在、10月入学者にあっては10月1日現在の状況について事実をありのままに、よくわかるように記入してください。

提出されたこの申請書を基に、申請者各々の必要提出書類を学生支援課にて精査します。精査後、学生支援課から申請者本人へその必要書類をメールにて連絡しますので、期限までに提出してください。

提出された書類に記入すべきことが書かれていない、判断しにくいなど不備があるものは選考から除外します。

なお、記載内容が故意に事実と相違して記入してある場合は、許可後であっても取り消すこととなりますので、正確に記入するよう注意してください。

【重要】申請資格の確認について

該当する資格の左枠に✓チェックを入れてください。

該当する申請資格についての証明書類※が必要となりますのでご注意ください。

※ これは名古屋大学独自の入学料免除・徴収猶予の申請書です。申請前に申請資格の有無を確認してください。該当する申請資格項目番号の左枠に✓を入れてください。

入学料免除申請資格 ※④に✓する者は必ず1)~5)中で該当項目を2つ以上✓してください	
①	入学前1年以内に主たる学資負担者が死亡
②	入学前1年以内に主たる学資負担者または本人が風水害等で被災
③	次の激甚災害により主たる学資負担者または本人が被災 対象:平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、令和元年8月9月暴風雨及び豪雨、令和2年7月豪雨 令和4年4月1日時点において次の1)~5)の中で該当項目が 2つ 以上ある者
④	1) 学資負担者が病気または事故により6か月以上の療養中である
	2) 学資負担者が障害者である
	3) 学資負担者が入学前1年以内に失職または経営する会社が倒産した
	4) 生活保護世帯である
	5) ひとり親家庭である
入学料徴収猶予申請資格 ※②に✓する者は必ず1)~5)中で該当項目を1つ以上✓してください	
①	経済的理由により入学料の納入が困難な者 令和4年4月1日時点において次の1)~5)の中で該当項目が 1つ 以上ある者
②	1) 学資負担者が病気または事故により6か月以上の療養中である
	2) 学資負担者が障害者である
	3) 学資負担者が入学前1年以内に失職または経営する会社が倒産した
	4) 生活保護世帯である
	5) ひとり親家庭である
③	入学料免除申請資格がある者

※証明書類の内容は申請書提出後に、✓チェックされている内容に沿ってメールにて連絡します。

1. 申請区分について

申請区分は「免除」「免除及び判定後の徴収猶予」「徴収猶予」の3区分があります。該当する区分の左枠に必ず✓チェックを入れてください。

1. 申請区分(該当する申請区分に1つだけ✓してください)	
<input type="checkbox"/>	① 免除(免除申請資格がある者のみ) 選考結果通知まで支払いが猶予されます。選考結果後、支払いが生じた場合は結果通知後20日以内に支払わなければ除籍になります。
<input type="checkbox"/>	② 免除及び判定後の徴収猶予(免除申請資格がある者のみ) 選考結果通知まで支払いが猶予されます。選考結果後、支払いが生じ且つ徴収猶予が認められた場合は4月入学者は9月末日まで、10月入学者は翌年2月末日まで支払いが猶予されます。
<input type="checkbox"/>	③ 徴収猶予(免除申請資格または徴収猶予申請資格がある者のみ) 選考結果通知まで支払いが猶予されます。選考結果後、徴収猶予が認められた場合は4月入学者は9月末日まで、10月入学者は翌年2月末日まで支払いが猶予されます。

2. 申請身分について

該当する身分の左枠に✓チェックを入れてください。

2. 申請身分(該当する申請身分に✓してください)	
<input type="checkbox"/>	一般
<input type="checkbox"/>	独立生計者(学部生は原則として「独立生計者」の身分では申請できません。)

申請身分は以下のとおりです。日本人等学部生の申請者の多くは「一般」に該当します。

申請身分	要件
一般	「独立生計者」「私費外国人留学生」のどちらにも該当しない場合
独立生計者 ※学部生は原則として「独立生計者」の身分では申請できません。	以下の条件をすべて満たしていること (この条件を満たす証明書類の提出も必要です。詳細はお問い合わせください。) 1. 本人(又は配偶者)に収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得の証明書が発行される者 2. 所得税法上、社会保険上、父母等(配偶者を除く)の扶養親族でない者 3. 父母等と別居している者(住所が異なることが要件です) 4. 父母等(配偶者を除く)から経済的な援助を受けていない者※申請者本人(及び配偶者)が生活する上で必要なすべての費用を父母等からの援助を受けず、自ら賄っていること
私費外国人留学生 ※この身分に該当する者はこの用紙を使用できません。	私費外国人留学生(在留資格『留学』に限る)

3. 申請者氏名等について

3. 申請者氏名等 (下記※1~4を読んでから記入してください)					
フリガナ				学生番号 (大学記入欄)	入学年度※1
申請者氏名					2022年度 4月 入学・編入学
所属	学部	学科		年	
住所※2	〒 -				
メールアドレス※3					
電話番号※3			携帯電話※3		
主たる家計支持者	氏名		電話番号		携帯電話
	住所	〒 -			
独立生計者の父母について ※4	氏名		住所	〒 -	

※1 入学形態(入学または編入学)について該当箇所を○で囲むこと
 ※2 申請時点(4月入学:4月1日、10月入学:10月1日)での申請者の居住地を記入すること
 ※3 申請内容の確認や不足書類の依頼に必要なため、必ず申請者本人と連絡が
 取れるものを記入すること
 ※4 独立生計者は、父母の氏名及び住所を記入すること(一般学生は記入不要)

- 「学生番号」は大学で記入しますので、記入不要です。
- 「入学年度」は 入学 または 編入学 のどちらかに○をつけてください。
- 「住所」は、番地、棟号、室番号や〇〇方まではっきり記入してください。
- 申請者の住所は「現住所」を記入してください。
 下宿先が未定の場合は提出時の住所を記入してください。下宿先が決まり次第学生支援課へ申し出て
 ください。
- 「電話番号」「携帯電話」は**必ず連絡の取れるもの**をはっきり記入してください。
- 申請者の「携帯電話」は必ず本人のものを記入してください。**大学からの電話には必ず対応してくだ
 さい。**
- 「メールアドレス」は不足書類・確認連絡に使用しますので、よく利用する電子ツールに転送設定す
 る等、都度確認できるようにしてください。また、アンダーバーやハイフン、数字のゼロとアルファ
 ベットのオー、数字のイチとアルファベットのエル、アルファベットの大文字小文字について注意し
 て記入してください。
- 独立生計者は、父母の氏名、住所を記入してください。

4. 申請理由について

全員、必ず記入してください。

4. 申請理由 (世帯状況やその他特に説明を要することを具体的に3行以上記入してください。)

- 免除・徴収猶予を申請するに至った事情を具体的に **3行以上** 記入してください。
- 主たる家計支持者が無職又はそれに近い状態であって、経常的収入が皆無又はそれに近い状態の場合には、その生活の方法、生活費の出所等を「別紙4 申立書」に具体的に記入してください。
- 家計に重大な影響を与えている事情（例えば、ひとり親世帯、障害者がいる世帯、風水害の被害にあった世帯）あるいは特別な事情がある場合は、その内容を **具体的に** 記入してください。

5. 世帯構成状況について

世帯の構成員について記入してください。

家計支持者の収入や就学者について証明書類※が必要となりますのでご注意ください。

※証明書類の内容は申請書提出後にメールにて連絡します。

★ 世帯の構成員の確認

申請身分に応じて以下のとおり世帯の構成員が変わります。

	世帯の構成員	一般	独立生計者
①	申請者（独立生計者は配偶者を含む）	●	●
②	父及び母、又は父及び母に代わって家計を支えている者（「家計支持者」という。）	●	
③	同居、別居を問わず、所得税法上、家計支持者又は申請者の被扶養者である者	●	●

●：世帯の構成員に該当

- 上記②または③に該当する方がいれば世帯人数に含まれます。その場合、その方に係る各種証明書類等の提出が必要となります。
- 家計支持者について、申請者は原則として該当しませんが、独立生計者は申請者本人（及び配偶者）を家計支持者と見なします。
- 同居・別居にかかわらず、「②家計支持者」または「③家計支持者又は申請者の被扶養者」に該当しな

い祖父母・兄弟姉妹等は世帯の構成員に含まれないため、各種証明書類等の提出は不要です。

★ 家計支持者による被扶養者の特定方法

家計支持者による被扶養者は、家計支持者の源泉徴収票、確定申告書または市県民税申告書等から確認できます。

「2022年度 名古屋大学入学料免除（徴収猶予）・授業料免除申請要領」のP.42を参照してください。

★ a. 就学者を除く構成員とは

家計支持者と家計支持者による被扶養者のことです。被扶養者のうち就学者に該当する場合は次のb. 就学者に記入してください。

a. 就学者を除く構成員（主たる家計支持者に○印、別居者に×印を記入してください）							
	続柄	○×	氏名	年齢	職業 ※4	就職年月 ※5	勤務先 （複数ある場合は全て記入してください）
家計支持者	父 ※1					(西暦) 年 月	
	母 ※1					(西暦) 年 月	
		※2				(西暦) 年 月	
（就学者を除く） 家計支持者による被扶養者		※3				(西暦) 年 月	
		※3				(西暦) 年 月	
		※3				(西暦) 年 月	
独立生計者	本人					(西暦) 年 月	
	配偶者					(西暦) 年 月	

- ・ 構成員には、家計支持者（父母等）、家計支持者の扶養下にある者を記入してください。
- ・ 父母欄は死別・生別の場合でも氏名欄に [] 書きで記入、名前が分からない場合は [不明] と記入してください。（空欄で提出しないでください）
- ・ 扶養を外れた祖父母、兄弟姉妹については原則として世帯の構成員に含めません。
- ・ 構成員のうち、主たる家計支持者には○印、別居者には×印を指定の欄に付けてください。
- ・ 「年齢」は、4月入学者は当該年4月1日現在、10月入学者は10月1日現在の年齢を記入してください。
- ・ 「職業」は、例えば「商業」などとせず、食料品小売業、公務員、小学校教諭、会社員、パート・アルバイト、派遣社員などと具体的に記入してください。
- ・ なお、主婦、専従者、家事手伝い、年金受給、無職等もその旨記入し、空欄にしないでください。（「専従者」とは、家族の中で実際に自分の家で行っている商業・製造業・サービス業・農業等に専ら専従している人をいいます。）
- ・ 「就職年月」は、就職した年月を正確に記入してください。（在職期間ではありません）
- ・ 「勤務先」は、○○商店、○○会社などと記入してください。

※複数の仕事をしている場合は、すべて記入してください。

★ b. 就学者とは

「就学者」とは、次に在学する者です。

小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、専修学校専門課程、専修学校高等課程、大学（短期大学・大学院・専攻科・別科を含む）

b. 就学者^{※3}

「a. 就学者を除く構成員」へ記入 未・非就学者は 就学者	続柄 ^{※3}	氏名	年齢	在学学校名	学年	通学区分 ^{※5}	申請時時点で進学予定の場合は ✓チェック
	本人				名古屋大学 学部・研究科		自宅 自宅外
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	
				国立 公立 私立		自宅 自宅外	

- ・ 研究生及び聴講生並びに上記以外の専修学校一般課程及び各種学校（予備校・職業訓練校・その他）などに在学する者、保育園・幼稚園などの未就学児は、「就学者を除く家族」欄に記入してください。
- ・ 申請書作成時点で進学先が未定の場合には、進学予定の学校名等を記入し、「進学予定」の欄に✓チェックを入れ、進路が確定した段階で申請情報の修正を申し出てください。
- ・ 就学者で定職がある場合は、就学者を除く構成員欄にも各項目を記入してください。なお、独立生計者の通学区分は「自宅」です。

★ 記入例

例)

- ・ 父の勤務先が2社（複数）ある。
- ・ 母は専業主婦で無職である。
- ・ 祖母は同居していないが、父の被扶養者である。
- ・ 兄（こだま）は病気のため2月に退職し自宅で療養中である。なお、3月から父の被扶養者となった。
- ・ 姉（瑞穂）は3月に高校を卒業し、4月から予備校に通う予定である。
- ・ 姉（つばめ）は卒業すると「専門士」の称号を得られる農業大学校に通っている。
- ・ 弟（輝）は3月に中学校を卒業し、4月から高校へ入学予定であるが、まだ高校の最終合否結果が出ていない。合格したら通う予定の高校を記入し、実際の入学校が変更となった際にはその際に申し出る予定である。

5. 世帯構成状況(下記※1~5を読んでから記入してください)

a. 就学者を除く構成員(主たる家計支持者に○印、別居者に×印を記入してください)

	続柄	○×	氏名	年齢	職業 ※4	就職年月 ※5	勤務先
							(複数ある場合は全て記入してください)
家計支持者	父 ※1	○	名大 颯	53	会社員 アルバイト	(西暦)1992年 4月 2020年 10月	白鷹電工(株) 社会福祉法人 浅間の里
	母 ※1		名大 のぞみ	50	専業主婦(無職)	(西暦) 年 月	
		※2				(西暦) 年 月	
(就学者を除く) 家計支持者による 被扶養者	祖母 ※3	×	名大 とき	78	年金受給(無職)	(西暦) 年 月	
	兄 ※3		名大 こだま	26	病気療養中(無職)	(西暦) 年 月	
	姉 ※3		名大 瑞穂	18	予備校生(無職)	(西暦) 年 月	
独立生計者	本人					(西暦) 年 月	
	配偶者					(西暦) 年 月	

b. 就学者 ※3

	続柄	氏名	年齢	在学学校名		学年	通学区分 ※5	申請時点で進学予定の場合は ✓チェック
				大学	学部			
「a. 就学者を除く構成員」へ記入 未・非就学者は 就学者	本人	名大 ひかり	18	名古屋大学	経済	1	自宅 自宅外	
	姉	名大 つばめ	19	国立 公立 私立	名古屋県立農業大学校	2	自宅 自宅外	
	弟	名大 輝	15	国立 公立 私立	不老大学不老高等学校	1	自宅 自宅外	✓
				国立 公立 私立			自宅 自宅外	
				国立 公立 私立			自宅 自宅外	

※1 死別・生別の場合でも、氏名欄に「」書きで記入し、「6. 特別な事情等」に詳細を記入すること
 ※2 父母以外が家計支持者の場合に記入すること
 ※3 家計支持者による扶養確認ができる構成員を記入すること

※4 無職、専業主婦、年金受給、予備校生など職がない場合でも必ず記入すること
 ※5 該当する方を○で囲むこと(独立生計者は原則自宅です)

6. 特別な事情等について

必ず、該当の有無に✓チェックを入れてください。

有に✓チェックした方は該当世帯の左枠に✓チェックを入れてください。

該当する世帯についての証明書類※が必要となりますのでご注意ください。

6. 特別な事情等(右記該当項目に必ず✓してください)				□有 □無	
※「有」に✓を入れた方で、下記に該当する項目がある場合、該当項目の左枠に✓を付け、必要事項を記入又は○で囲むこと。					
母子・父子世帯	□母子世帯 ⇒ 父 死亡・生別 (年 月)	・養育費 (年額 千円)			
	□父子世帯 ⇒ 母 死亡・生別 (年 月)	・遺族年金(年額 千円)			
障害者のいる世帯	本人との続柄	障害名・等級	手帳番号	合計人数	
				人	
生活保護世帯	扶助の種類	生活・住宅・教育・医療・介護・生業・その他()			
火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	被災年月日	被災状況	保険・損害賠償等の補填状況	支出見込金額(年額) 千円	
			有・無		
長期療養者のいる世帯(6ヶ月以上)	本人との続柄	病名	療養期間		
			年 月 ~ 年 月		
			年 月 ~ 年 月		

※証明書類の内容は申請書提出後にメールにて連絡します。

★ 母子・父子世帯

母子・父子世帯の詳細は「2022年度 名古屋大学入学料免除（徴収猶予）・授業料免除申請要領」の P.57～59 を参照してください。

<補足>

- ・ 生別で養育費の受け取りがある場合は、年額を記入してください。
- ・ 死別で遺族年金の受給がある場合は、年額を記入し、遺族年金の源泉徴収票、振込通知書または振込改定通知書を提出してください。

★ 障害者のいる世帯

障害者のいる世帯の詳細は「2022年度 名古屋大学入学料免除（徴収猶予）・授業料免除申請要領」の P.60～61 を参照してください。

<補足>

身体障害者手帳に記載されている「障害名・等級・手帳番号」を記入してください

★ 生活保護世帯

生活保護世帯である場合は、扶助の種類に○をつけてください。

生活保護受給証明書、生活保護金品支給通知書の写しを提出してください。

★ 火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯

火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯の詳細は「2022年度 名古屋大学入学料免除（徴収猶予）・授業料免除申請要領」の P.55～56 を参照してください。

<補足>

被害の対象期間は入学前1年以内ですが、申請資格に記載されている激甚災害は対象期間外であっても対象となります。

★ 長期療養者のいる世帯

申請時現在、**学資負担者**が6ヶ月以上に渡る長期療養中、または6ヶ月以上に渡る長期療養を必要と認められる世帯です。

申請時に療養が終わっている場合は対象外となります。